



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



去年の春より力が入ります

1994

4

No.336

新町・工藤清作さん
の苗代作り

三十三号 青森県 金木町 苗代作り

平成6年度 一般会計予算は

49億1,514万円の大型予算



三月定例議会で、平成六年度一般会計、特別会計の各予算が議決されました。一般会計は対前年比二一・六％増の四九億一、五一四万円と大型なものとなり、その主な要因は、運動公園整備事業、消防施設整備事業、ふるさとづくり事業などの事業費の増によるものです。以下そのあらましを紹介します。

歳入

地方交付税は二二億四、二〇〇万円で全体の四五・六％

平成六年度の予算額は四九億一、五一四万円と前年を二一・六％上回る大型予算となりました。

歳入のうち、自主財源は六・三％増の一億三、二九六万円。依存財源は二七・一％増の三七億八、二一七万円となっています。

地方交付税……国から交付される地方交付税は、対前年比九・九％増の二二億四、二〇〇万円で全体の四五・六％を占めています。

町債……国・県等から借入れする町債は対前年比二一・六・八％増の八億一、六六〇万円となっており、これは運動公園整備事業、消防施設整備事業、ふるさとづくり事業などの大規模事業を行うため増額となったものです。

国庫・県支出金……国・県が特定の事業に対して交付する支出金は対前年比一・八％増の五億四、七一六万円とほぼ昨年並となっています。

町税……皆さんから徴収する

町民一人当たり納める税額

(単位：円)

町民税	20,622
固定資産税	25,557
軽自動車税	1,184
町たばこ税	4,017
計	51,380

その他……その他の歳入として、使用料及び手数料が七、一〇三万円、分担金及び負担金が五、五二七万円、諸収入が五、四七一万円、繰越金が一、〇〇〇万円、寄付金が一、五二五万円、財産収入が一、一〇〇万円となっています。

一人当りの金額は平成六年三月三十一日現在の町の人口

特別会計

国民健康保険特別会計	1,164,709千円
老人保健特別会計	906,988千円
農業集落排水事業特別会計	282千円
水道事業会計	182,112千円

過去5年間の当初予算額

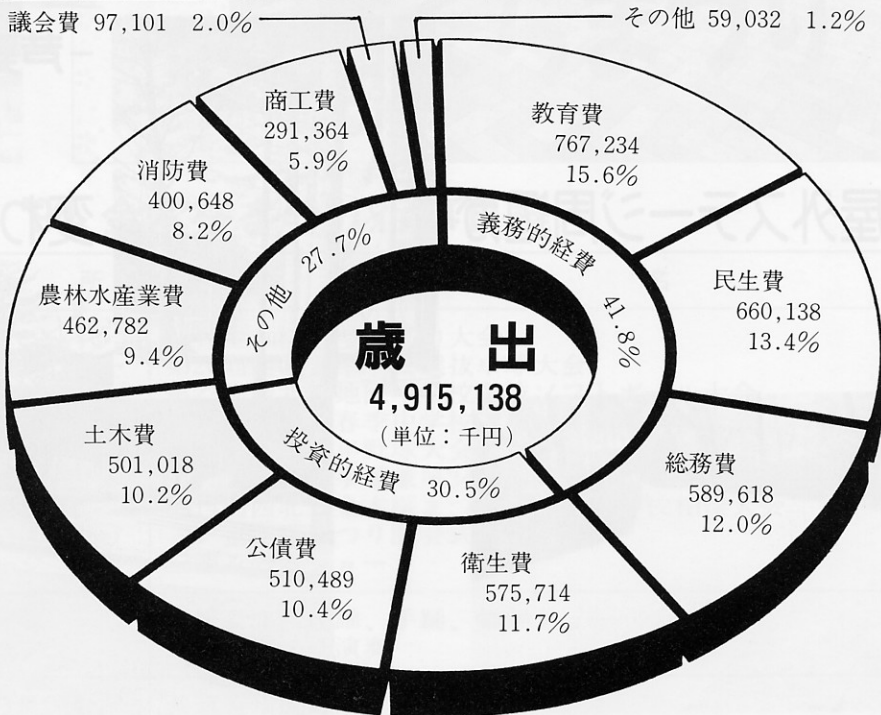
年度	当初予算額
元	32億1,868万円
2	37億1,317万円
3	38億247万円
4	40億3,477万円
5	40億4,096万円

見ると
教育費…運動公園整備事業に四億二,四九八万円、中央公民館施設整備事業に四〇〇

民生費…喜良市老人福祉センター増築事業に四五〇万円、福祉安心電話整備事業に一三二万円。

歳出

七億六,七二三万円で教育費がトップ
 運動公園整備に四億二,四九八万円



総務費…除籍、改製原戸籍再製事業に四五〇万円、交通安全対策事業に二八〇万円。
 衛生費…一般廃棄物最終処分場建設用地取得に二,七五七万円、塵芥収集車購入事業に八二二万円、霊園墓石購入事業に五五五万円。
 土木費…地方道改修事業に一億一,一〇一万円、ふるさとづくり町道整備事業に九,七七六万円、町営住宅建設事業に八,〇〇二万円、道路新設改良事業に七,一〇〇万円。
 農林水産業費…野菜育苗施設整備事業に一億三,五〇〇万円、農家飯米玄米代に二,〇六二万円、野菜周年産地育成事業に二,九五八万円、広域農道整備事業に二,六九一万円、ふるさと農道緊急整備事業に二,五〇〇万円。
 消防費…コミュニティ消防センター建設事業に一億一〇〇万円、消防ポンプ車購入事業に一,一〇〇万円。
 商工費…ふるさとづくり事業に一億四,〇〇六万円、芦野公園整備事業に四,五〇〇万円。等となっており、積極的な予算編成となっています。

町民一人当りに使われるお金

(単位：円)

合計	その他	商工費	消防費	農林水産業費	土木費	公債費	衛生費	総務費	民生費	教育費
387,110	12,296	22,947	31,555	36,448	39,460	40,205	45,343	46,438	51,992	60,426

一二、六九七人で計算したものです。



- 芦野公園 -

屋外ステージ周辺が

変わりました。



この整備で自然の緑を活かしより一層美しくなった芦野公園。ちよつと散歩してみたいかがでしょう。

整備されたのは、動物園そばから野外ステージ付近までの管理道路が淡いブルーの洗い出し、平板となった他、照明五基、カラー舗装や木造の安全柵、野外ステージ前に敷き詰められた同系三色の焼きレンガ舗装、その後方にはあたり一面敷詰められている芝生、動物園の汚水を浄化する浄化槽等です。

平成三年度から継続して行われている県営水環境整備事業の平成五年度分の工事が終わり、野外ステージ周辺がきれいに整備されました。県営水環境整備事業は、公園の豊かな自然を活かし「自然とふれあえる公園をテーマ」に町民の憩いの場として津軽半島をカバする観光の拠点として、多くの観光客に楽しんでからおうと「地域づくり推進事業」と並行して進められている事業で、平成五年度は約一億円を投じて工事が行われました。

待望のコミュニティ
消防センター完成

消防ポンプなど防災施設がなかった芦野団地地区と嘉瀬西部地区に待望のコミュニティ消防センターが完成した。どちらも地域住民の待望の施設とあって修祓式には関係者をはじめ多数の住民が集まりました。



芦野コミュニティ消防センター



嘉瀬西部コミュニティ消防センター



春も吹ぶく

金木

さくらまつり

'94 金木桜まつり行事日程

日程	時間	場 所	行 事 名
4月 29日 (金) 祝	8:00	賽の河原	'94 金木桜まつり馬力大会 第20回西北五中学校選抜卓球大会 第23回西北五地区中学校選抜ソフトボール大会 第19回北地区春季中学校選抜バレーボール大会 第23回防犯少年野球大会 第21回秋谷杯争奪兼第24回西北五中学校庭球大会 第14回西北五金木桜まつり防犯小中学校相撲大会 '94 金木桜まつり開会式 三浦みのるショー
	8:30	トレーニングセンター	
	8:30	金中球場	
	8:30	金中体育館	
	8:30	芦野球場	
	9:00	金中テニスコート	
	9:00	公園相撲場	
	11:00	登仙岬入口(雨天管理センター)	
12:30	野外ステージ		
30日 (土)	12:30	野外ステージ	扇松会津軽民謡、手踊、舞踊ショー 斉藤治ギター演奏
	14:30	野外ステージ	
5月 1日 (日)	9:00	招魂堂わき(雨天管理センター)	茶道遠州流野点 平成6年度金木町朝野球協会桜まつり協賛野球大会 第2回県下登山ばやし金木大会 戦没者慰霊前夜祭
	9:00	芦野球場	
	10:00	野外ステージ	
	18:00	招魂堂	
2日 (月)	8:00	芦野球場	第4回金木町長杯争奪北郡ゲートボール大会 戦没者慰霊祭
	10:00	招魂堂	
3日 (火) 祝	8:30	金中・芦野球場	第25回西北五中学校選抜野球大会 消防観閲式 小山内清智・清謡兄弟ショー、藤崎三平漫談ショー 渡辺博美歌謡ショー
	8:30	芦野球場	
	10:30	野外ステージ(雨天 金小体育館)	
	13:00	野外ステージ(雨天 金小体育館)	
4日 (水) 休	8:30	金中陸上競技場	第17回芦野陸上競技選手権大会 第25回西北五中学校選抜野球大会(準、決勝) 第6回津軽三味線全日本金木大会 第23回防犯少年野球大会(決勝) '94 金木桜まつり花火大会
	9:00	芦野球場	
	9:30	野外ステージ(雨天 金小体育館)	
	12:00	芦野球場	
	19:30	登仙岬(雨天順延)	
5日 (木) 祝	7:00	農政局跡	土佐犬斗技大会 自衛隊装備品展示 第6回社会人野球大会 平成6年度県下銃剣道大会 扇謡会芸能発表会 滝栄会芸能発表会 '94 金木桜まつり協賛RAB杯カラオケ選手権金木大会
	9:00	招魂堂前	
	9:00	芦野球場	
	9:00	招魂堂西	
	10:00	野外ステージ	
	11:00	野外ステージ	
	12:00	野外ステージ(雨天 金小体育館)	

「凧あげと冬の遊び」

喜良市子ども会育成連合会



冬の遊びを楽しむ子供たち

さる三月十三日、喜良市子ども会育成連合会（会長＝大橋雅明）主催の「凧あげと冬の遊び」が、喜良市小学校グ

ランドで開催され沢山の子どもたちで賑わいました。凧あげの部には、岩木町や鶴田町の凧の会の方々が多数参加し、グラウンド上空狭しとその勇姿を競いました。昼にはお母さん方の心づくしの豚汁で腹ごしらえをし、午後は、ずぐりまわしや宝探しなど、冬の遊びに楽しい一日を過ごしていました。また、林町の岡田専九郎さんから自作の凧十枚が寄贈され、抽選で子どもたちにプレゼントされました。

嘉瀬小学校に ゾーキンのプレゼント



嘉瀬婦人会から手渡して

このほど、嘉瀬婦人会（会長＝神島リエ）が、日頃から作り置きしていたゾーキンを嘉瀬小学校（校長＝片田興）

にプレゼントしました。婦人会では、会員一人一人が不要になったタオルや布切れをゾーキンとして再製し、毎年小学校にプレゼントしており、今年も神島会長、毛内レツ副会長らが子供たちに手渡しました。ゾーキンを受け取った原田朋和児童会長と岩村暢寿、秋元香織副会長が「毎年掃除などで助かっています。これからも物を大切に校舎を磨いてきれいにしていきます。」とお礼を述べました。

希望の像完成 川倉小学校

川倉小学校（校長＝村上五朗）の新築落成記念として川倉湯の川の仏師大佐賀幸雄さんが木彫像「希望の像」を寄贈し、三月二十四日除幕式が行われました。



「希望の像」の除幕は生徒たちの手で

「希望の像」は、川倉小学校のOBでもある大佐賀さんが、小学校新築落成を記念に大規模校に負けず希望を抱き大成して欲しいという願いを込めて製作したものです。像は、樹齢四〇〇年、直径一mのヒバを使った一刀彫りで児童の等身大。台座にのせると二・八mの高さになり、全国でも極めて珍しいものです。卒業式に先立って行われた除幕式では、十三人の卒業生が卒業記念として除幕。村上校長が「貴重なものをいただき本校の宝にしたい。」と謝辞、田中町長が「像に負けないよう頑張ってください。」と祝辞を述べました。これに対し、生徒を代表し卒業生の白川真美さんが「川倉小学校の九十四名は喜びではばたき、大佐賀さんの願いを受け希望をもってスポーツ、勉強に頑張りたい。」とお礼を述べました。